



土佐町少年剣道 創立二十周年記念事業をしました。3月21日

- \* 早明浦ダム湖の清掃(200名で桜並木の清掃とラブさめの皆さんの協力でボートによる湖面の清掃)
- \* 湖畔に桜の苗木(センダイヤサクラ)20本を植樹。全員の名前を立札に記入。新聞に載りました。
- \* 記念講演: 田岡秀昭さん(森と町をつなぐ)、辻村幸生さん(お互いに感謝) 実は剣道経験者だった。
- \* 土佐町少年剣道創立二十周年祝賀会: 関係者170名が参加。横井さんに感謝状と記念品を贈呈。
- \* 記念誌の発行: 150部 (まだ少し残っているので、ご入用の方は高石清賢まで連絡ください)

高石昌悟 第32回全国スポーツ少年団剣道大会 ベスト8 敢闘賞

3月27日~29日、徳島県鳴門市で開催された第32回全国スポーツ少年団剣道交流大会において、土佐町中学校3年 高石昌悟が高知県選手としては初の男子個人ベスト8敢闘賞に入賞しました。

予選リーグ: 高石 メ - 中村(愛知)、高石 メ - 小林(東京)、予選リーグ1位

決勝トーナメント: 1回戦 高石 メ - 山本(北海道)、準々決勝 高石 メ - コメ 井上(愛媛)

最高にきびしいと思われた予選リーグをよく突破しました。宇賀孝篤先生も絶賛のメンでした。

その他の出場選手 井手あかり、光富 鈴(小学団体 高知県チーム)、式地夏美(中学校女子個人)



6年生で植樹

横井さんに感謝状

スポ少全国大会

高知県スポーツ少年団総合交流大会で小学生団体4連覇、低学年も準優勝

4月29日: 小学生団体4年連続の優勝(今年のチームは、チームワークと粘りで優勝、致道館との決勝も代表戦、近藤亜実が見事な面で勝負を決めました)。低学年団体は、決勝で魁少年剣道に惜敗。3年ぶりのダブル優勝とはなりませんでしたが、新チーム最初の大会、みんな本当によく頑張りました。

土佐町中学校剣道部、県春季大会で男子団体 準優勝 4月25日

2年ぶりの優勝はならず。しかし、準決勝の野市戦では、代表戦で高橋亮太がこん身のメン1本。

石原老人クラブと交流をしました。5月16日

昨年に続いての交流で日頃の稽古、模範稽古、模範試合を見てもらいました。その後 楽しくゲームをして、最後におにぎりを一緒に食べ、昨年同様とても暖かい雰囲気の良い交流でした。お年寄りからは「少年剣道からたくさんの元気をもらった」と言っていました。子どもたちも「自分たちの活動が人のためになる喜び」を学ぶことができました。7月27日、いつもお世話いただき、応援してくれた、仁井田昭さんが亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りします。ありがとうございました。



高学年優勝

低学年準優勝

老人クラブ交流

県高校体育大会 男子個人ベスト8 四国大会出場 高石昌悟 5月22日

嶺北高校1年の高石がベスト16で明徳の赤池(3年生)と対戦、全員の先生方の予想に反しメンを取り場内がどよめく中、またもやメンを連取。場内は騒然。準々決勝では 明徳大将の森本にコテを取り、全員の先生方の目を釘付けにしたものの、延長の末 メンを取られて惜敗。四国大会は1回戦延長で敗退。

県少年剣道錬成大会(6・6)女子個人準優勝近藤亜実、中学団体全国大会へ

女子個人決勝、稲村若菜以来の女子個人全国かと思われた。実力、試合態度ともに申し分の無い近藤亜実。決勝の相手にも負けたことは無い。しかし 不覚のメン1本。あとは勝負をさせてもらえず1本負け。小学団体は、1回戦 低学年のとき団体優勝した土佐清水がなんとノーシードであたった。2:1で惜敗。6年連続の全国はならず。しかし、中学団体が11年ぶりに全国大会へのキップを手にした。

井手あかり 21年度優秀団員表彰、千頭里咲 全国大会敢闘賞(実践発表)

県少年剣道錬成大会の開会式で、井手あかりと千頭里咲の全日本剣道道場連盟伝達表彰が行われた。



嶺北高校剣道部



県中学総体 男子団体 第3位、男子個人ベスト8 四国大会出場 高橋亮太

7月26日「めざせ全中」を合言葉に頑張ってきた土佐町中学校剣道部ですが、残念ながら準決勝で大方中に2:1で敗れ全中は夢と散りました。しかし、高橋亮太が個人戦ベスト8、明徳の大重選手に敗れましたが四国大会に出場を果たしました。

旧松ヶ丘小学校のプール掃除をしました。7月18日

昨年に続き、旧松ヶ丘小学校の町営プールの掃除をしました。地区の児童の減少により、地域で掃除ができなくなったため、少年剣道が昨年からプール掃除をしています。昨年、こじゃんと磨いたせいか、今年は汚れも少なく、2時間程度でピカピカになりました。中学校の保護者も手伝いに来てくれました。

第44回全日本少年剣道錬成大会 中学生団体 4回戦進出 コート3位 入賞

7月28日 日本武道館で土佐町中学校剣道部3年生の5名は、心をつにして戦い、見事入賞を果たしました。全国の強豪が集まるこの大会で、これまで土佐町少年剣道はあと1歩で入賞を逃してきましたが、この日は5人が持ち味を発揮し念願の入賞。多くのご声援、貴重なご寄付ありがとうございました。

嶺北高校 玉竜旗出場 強豪 近代付属に大将戦 延長の末 惜敗 7/24~29

先)高石 引分、次)篠原 1本負、中)近藤 1本勝、近藤 引分、副)細川 引分、大)宮本 延長 1本負

1、2年生のチームで善戦、中学時代 春季大会優勝チーム、これからが楽しみです。



土佐町中学校剣道部



プール掃除



全日本少年剣道錬成大会